



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6819 URL <http://www.izu-sr.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室室長 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,956	△4.7	294	△26.7	323	△21.8	150	△60.9
2019年3月期	3,101	△0.5	401	△7.1	413	△11.3	385	△14.6
(注) 包括利益	2020年3月期 152百万円 (△60.1%)		2019年3月期 382百万円 (△15.2%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	5.29	—	6.8	11.8	9.9
2019年3月期	13.54	—	19.8	16.6	12.9
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期 —百万円		2019年3月期 —百万円		

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,812	2,290	81.4	80.45
2019年3月期	2,655	2,137	80.5	75.09
(参考) 自己資本	2020年3月期 2,290百万円		2019年3月期 2,137百万円	

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	411	△421	△7	392
2019年3月期	591	△569	△4	410

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	0 00	—	0 00	0 00	0	—	—
2020年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	0	—	—
2021年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00		—	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による緊急事態宣言の発令を受けて当社グループ施設全てが一時的に休業を余儀なくされるなど、売上が大きく減少しており、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため、未定としております。

2021年3月期の業績予想につきましては、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

なお、詳細につきましては、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	28,496,537株	2019年3月期	28,496,537株
② 期末自己株式数	2020年3月期	23,820株	2019年3月期	23,223株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	28,473,084株	2019年3月期	28,473,509株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	187	2.7	7	6.5	△31	—	9	△12.0
2019年3月期	182	7.7	6	4.6	△37	—	10	△25.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.33	—
2019年3月期	0.38	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	621		570		91.9	20.05		
2019年3月期	608		559		92.0	19.65		

(参考) 自己資本 2020年3月期 570百万円 2019年3月期 559百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用状況の改善が続き、個人消費も持ち直しの動きが継続しており、緩やかな景気回復が続きました。その一方で相次ぐ大型台風の接近及び上陸による自然災害の発生、また労働環境の変化による採用費用の増加や人件費の上昇、そして年度後半には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行により、東京オリンピックの延期を筆頭に影響は多方面に及び、景気の先行きは非常に厳しい状況となっております。

このような状況の中で、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、長きにわたって愛される施設作りを目指すべく継続して新たなアトラクションの設営など、ご来園者様の満足感を高める諸策を次々に打ち出しております。

当連結会計年度の業績は、売上高2,956百万円（前期比4.7%減）、営業利益294百万円（前期比26.7%減）、経常利益323百万円（前期比21.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益150百万円（前期比60.9%減）となりました。これは、当社の主要施設である伊豆シャボテン動物公園、及び伊豆ぐらんぱる公園、並びに伊豆高原グランイルミへの入場者が859千人となり、前期の入場者871千人より12千人弱減少したことや、台風15.19号による被害等によるものであります。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による緊急事態宣言の影響などにより、2021年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため、未定としております。これによる繰延税金資産の取り崩しがあり、親会社株主に帰属する当期純利益の金額が減少いたしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、640百万円となりました。これは主として、現金及び預金が52百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて193百万円増加し、2,172百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が294百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて157百万円増加し、2,812百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて54百万円減少し、250百万円となりました。これは主として、買掛金が14百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、271百万円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が38百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4百万円増加し、522百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて152百万円増加し、2,290百万円となりました。これは主として、当期純利益の計上等により利益剰余金が150百万円増加したこと等によります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて5円36銭増加し、80円45銭となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末の80.5%から81.4%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、392百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、前連結会計年度より180百万円減少し、411百万円（前連結会計年度は591百万円の資金獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益273百万円の獲得によります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より147百万円減少し、421百万円（前連結会計年度は569百万円の資金使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出444百万円によります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より3百万円増加し、7百万円（前連結会計年度は4百万円の資金使用）となりました。

#### (4) 今後の見通し

当社グループは、各公園の更なる収益力の強化、各公園における安全・安心確保や、コンプライアンスの徹底など一層の内部管理体制の充実を図ってまいります。

伊豆シャボテン動物公園の開園60周年記念として「レッサーパンダ館」内にジャコウネコ科に属するビントロングが新たに仲間入りしました。また、体験型イルミネーションとして高い評価を頂いております「伊豆高原グランイルミ」が5年目を迎え、その中でも当社グループの特性を生かした「イルミdeZoo」という、イルミネーションと動物園の融合を図るイベントを開始し、なかでも夜行性動物であるキンカジュウの特徴を生かした「キンカジュウのボルダリング」が好評を博しております。新施設のオープンや、伊豆高原グランイルミの一層の認知度向上など引き続き行うことによって、ステークホルダーの皆様の満足度を向上させるべく継続的な改革・改善に取り組めます。

当社グループでは、「当社施設訪問を目的とした人々が」“日本中から伊豆に集まって下さる”状況作りを目指し、引き続き各公園施設の全般的な魅力向上（魅力的な運営施設の新設、イベントの拡充、物販の拡充、接客などサービスレベルの向上、効果的な宣伝広告）を重点施策として実施してまいります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による緊急事態宣言の発令を受けて当社グループ施設全てが一時休園を余儀なくされるなど、売上が大きく減少しております。そのため次期（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難なため、未定としております。

上記における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	551,976	499,129
売掛金	59,582	62,167
未収入金	1,484	-
商品等	32,815	38,751
その他	30,286	40,539
流動資産合計	676,145	640,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,033,647	2,468,886
減価償却累計額	△584,126	△725,086
建物及び構築物(純額)	1,449,521	1,743,800
機械及び装置	266,619	267,425
減価償却累計額	△145,701	△174,214
機械及び装置(純額)	120,918	93,210
土地	23,364	23,364
建設仮勘定	116,791	95,898
その他	349,446	371,950
減価償却累計額	△255,349	△266,387
その他(純額)	94,096	105,562
有形固定資産合計	1,804,692	2,061,837
無形固定資産		
ソフトウェア	602	107
無形固定資産合計	602	107
投資その他の資産		
投資有価証券	8,198	10,311
長期化営業債権	12,156	3,156
破産更生債権等	754	754
繰延税金資産	89,180	-
その他	76,565	100,134
貸倒引当金	△12,911	△3,911
投資その他の資産合計	173,944	110,446
固定資産合計	1,979,239	2,172,391
資産合計	2,655,385	2,812,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,476	24,300
未払金	157,171	148,158
前受金	27	27
預り金	8,864	3,636
未払法人税等	24,408	14,256
災害損失引当金	-	7,688
賞与引当金	21,599	18,308
その他	54,609	34,006
流動負債合計	305,156	250,381
固定負債		
退職給付に係る負債	150,110	188,834
リース債務	9,326	32,522
その他	52,815	50,610
固定負債合計	212,251	271,967
負債合計	517,408	522,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,423	425,281
利益剰余金	1,630,446	1,781,062
自己株式	△12,150	△12,083
株主資本合計	2,143,720	2,294,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,743	△3,630
その他の包括利益累計額合計	△5,743	△3,630
純資産合計	2,137,976	2,290,630
負債純資産合計	2,655,385	2,812,978

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,101,616	2,956,757
売上原価	1,019,449	947,109
売上総利益	2,082,166	2,009,648
販売費及び一般管理費	1,680,597	1,715,453
営業利益	401,569	294,194
営業外収益		
受取利息	40	22
受取手数料	2,034	8,343
受取賃貸料	1,573	1,935
償却債権取立益	2,961	-
保険解約返戻金	-	16,666
その他	6,837	3,400
営業外収益合計	13,448	30,368
営業外費用		
支払利息	567	1,159
貸倒引当金繰入額	44	-
その他	751	66
営業外費用合計	1,364	1,226
経常利益	413,653	323,336
特別利益		
固定資産売却益	2,261	157
受取保険金	33,226	501
特別利益合計	35,488	658
特別損失		
災害による損失	-	43,145
災害損失引当金繰入額	-	7,688
ゴルフ会員権評価損	170	-
その他	0	0
特別損失合計	170	50,833
税金等調整前当期純利益	448,971	273,161
法人税、住民税及び事業税	39,239	33,364
法人税等調整額	24,069	89,180
法人税等合計	63,308	122,545
当期純利益	385,663	150,615
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	385,663	150,615



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	385,663	150,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,675	2,113
その他の包括利益合計	△2,675	2,113
包括利益	382,987	152,729
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	382,987	152,729
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,423	1,244,783	△12,097	1,758,110
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			385,663		385,663
自己株式の取得				△52	△52
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	385,663	△52	385,610
当期末残高	100,000	425,423	1,630,446	△12,150	2,143,720

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△3,068	△3,068	1,755,041
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			385,663
自己株式の取得			△52
自己株式の処分			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,675	△2,675	△2,675
当期変動額合計	△2,675	△2,675	382,934
当期末残高	△5,743	△5,743	2,137,976

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,423	1,630,446	△12,150	2,143,720
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			150,615		150,615
自己株式の取得				△117	△117
自己株式の処分		△142		184	42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△142	150,615	66	150,539
当期末残高	100,000	425,281	1,781,062	△12,083	2,294,260

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△5,743	△5,743	2,137,976
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			150,615
自己株式の取得			△117
自己株式の処分			42
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,113	2,113	2,113
当期変動額合計	2,113	2,113	152,653
当期末残高	△3,630	△3,630	2,290,630

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	448,971	273,161
減価償却費	184,175	210,006
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△9,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,585	38,724
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,186	△3,291
受取利息及び受取配当金	△40	△22
支払利息	567	1,159
為替差損益 (△は益)	27	25
償却債権取立益	△2,961	-
固定資産売却損益 (△は益)	△2,261	△157
災害損失	-	43,145
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,153	△2,585
商品等の増減額 (△は増加)	△11,871	△5,936
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,587	△14,188
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,938	△13,898
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△16,904	7,236
未収消費税等の増減額 (△は増加)	43,118	△17,443
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△19,777	△9,095
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△505	△36
受取保険金	△33,226	△501
その他	2,427	1,131
小計	578,831	498,435
利息及び配当金の受取額	40	22
利息の支払額	△561	△1,159
法人税等の支払額	△19,872	△43,520
法人税等の還付額	1	2
災害損失の支払額	-	△43,145
保険金の受取額	33,226	501
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,666	411,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△88,008	△33,003
定期預金の払戻による収入	63,006	68,005
有形固定資産の取得による支出	△496,958	△444,841
その他	△47,401	△11,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△569,362	△421,502
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
その他の支出	△4,009	△7,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,009	△7,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,267	△17,845
現金及び現金同等物の期首残高	392,205	410,472
現金及び現金同等物の期末残高	410,472	392,627

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(台風など大雨による被害の発生)

2019年9.10月に発生した台風15号及び19号により、当社施設内の建物等が損壊する被害が発生いたしました。これらの現状復旧費用として「災害による損失」として特別損失に43,145千円計上しております。また、今後復旧に要すると見込まれる費用の見積額7,688千円を「災害損失引当金」として連結貸借対照表の流動負債に、「災害損失引当金繰入額」として連結損益計算書の特別損失にそれぞれ計上しております。

なお、当社は当該災害に係る被害に備えた保険を付しており、当該災害に対しても保険金の請求をしておりますが、当連結会計年度末において保険金受取額が未確定なものについては、保険金収入を未収計上しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が連結計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一のサービスの区分の外部顧客への売上高が連結計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	75.09円	80.45円
1株当たり当期純利益	13.54円	5.29円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	385,663	150,615
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	385,663	150,615
普通株式の期中平均株式数(株)	28,473,509	28,473,084

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,137,976	2,290,630
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,137,976	2,290,630
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,473,314	28,472,717

(重要な後発事象)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大に伴う緊急事態宣言により、当社グループ施設において休業している施設があります。当該休業も含め、事態が長期化すれば、当社グループの財政状態及び経営成績に重大な影響を与える可能性があります。なお、提出日現在では当該影響額を合理的に見積もることは困難であります。